

## 週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーに  
輝きを

Vol.47 第2334回例会

2014.11.27

今年度会長テーマ

みんなで 熱く語ろう ロータリーを!!

■司会：  
野村(裕)会員



■点鐘：赤木会長

■合唱：  
ロータリーソング  
「それこそロータリー」



◆ソングリーダー：  
小町会員

■お客様紹介：  
小町パスト会長



■会長報告

赤木会長



皆様こんにちは。風邪が流行ってきました、体調管理をしっかりしましょう。

東京練馬中央ロータリークラブの桜井健一様、本日はようこそ当クラブをご来訪下さいました。又、本日は卓話をお引受下さいまして大変有難うございます。宜しく願い申し上げます。

ゴルフ部の皆さん、地区大会の準優勝誠にありがとうございます。皆さんの実力では準優勝は少し不満かもしれませんが、楽しみは来年に残しておきましょう。

樺澤さん、お元気になられて例会に復帰され、大変嬉しく思います。余り無理をしないようお願い致します。

さて、先日25日に東京東大和ロータリークラブの地区補助金対象事業となりました、劇団の公演を観に田中幹事、小町会員、北久保会員、菱沼事務局の5名で行って参りました。当日は、東京東大和ロータリークラブの会員である幼稚園の園児を対象とした公演でした。出演者一同並々ならぬ努力の結果、大変素晴らしい公演でした。

他クラブの事業を数多く見て、当クラブの継続事業に役立たせたいと思っております。

■幹事報告

田中幹事



■ガバナー事務所：

- ・地区大会「新世代」の集合時間と場所の案内について  
大会2日目(2/17) 12時30分「扇」ロビー集合
- ・コーディネーターニュース11月号の受理  
「My Rotary」を活用しよう

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／飯田 能士

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101  
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

・2017～18年度当地区ガバナー(ガバナーノミニージェジグネート)候補の公表について  
当地区ガバナー指名委員会はR I細則第13条に従い  
東京新都心ロータリークラブ 吉田雅俊氏  
を候補者に指名

■クラブ奉仕委員会：  
在京クラブ奉仕会議(公共広告説明会)の案内の受理  
2015年1月19日(月) 15:00～  
於 京王プラザホテル  
(ウェブ担当者の出席が望ましいとのこと、ご検討  
下さい)

■国際ロータリー日本事務局：  
12月のロータリーレート 1ドル=112円

■多摩武蔵納税貯蓄組合連合会：  
平成26年度中学生「税についての作文」表彰式の案  
内について  
2014年12月16日(火) 17:30～  
於 東村山市民センター

■東村山市交通少年団：  
団長交代について  
2014年5月 山田 修氏 退任  
後任→和仁 雅子(わに まさこ)氏

■こころの東京革命協会：  
平成26年「わくわく中学生の職場体験」発表会開催  
及び出席について  
2015年1月16日(金) 14:00～  
於 新宿区 角筈区民ホール

■東京東大和ロータリークラブ：  
卓話依頼書の受理について  
北久保 隆一 会員へ  
2014年12月16日(火) 12:30～  
於 東京東大和RC例会場

■東村山消防少年団：  
防火防災安全祈願餅つき大会の案内について  
2014年12月14日(日) 10:00～  
於 東村山消防署裏庭

■前々会メークアップ者：

飯田会員：理事会 小町会員：理事会  
中丸会員：理事会 野澤会員：FRCゴルフ  
戸澤会員：地区委員会

■ニコニコBOX

西川会員



- ◆赤木会長・田中幹事：  
東京練馬中央ロータリークラブ桜井健一  
様、本日はようこそ当クラブにご来訪下  
さいましてありがとうございます。又、  
卓話よろしくお願い致します。樺澤さん、  
元気なお姿で戻られ安心致しました。
- ◆樺澤会員：ご心配を戴きありがとうございます。  
お陰様で回復できました。これからもよ  
ろしくご指導ください。
- ◆相羽会員：樺澤さん、これからもご指導の方よろし  
くお願い致します。
- ◆野崎会員：桜井様、本日はご多忙中のところ卓話に  
ようこそいらっしゃいました。よろしく  
お願いします。樺澤さん、復帰おめで  
とうございます。
- ◆山本会員：樺澤さん、おかえりなさい。これからも  
お元気でご指導の方よろしく願いま  
す。
- ◆村越会員：桜井様、本日はお忙しい所、遠くまで卓  
話にお出掛け下さり、ありがとうございます。  
私が所用の為欠席致します。ニコ  
ニコ入れてお詫び致します。楽しい卓  
話、桜井様、よろしくお願い致します。
- ◆中丸会員：先週は地区ゴルフ大会出席で例会を欠席  
して申し訳ありませんでした。本日は練  
馬中央RC桜井様、ようこそおいで下  
さいました。卓話よろしくお願い致します。

本日のニコニコ合計： 21,000円  
累 計： 778,000円

■出席報告

北久保会員



在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
27	22	0	4	84.62

- 前々回メークアップ修正後前々会欠席：2名
- 前々回出席率メークアップ修正後：92.31%

■退院お祝い

■樺澤会員：



## ■委員長報告

### ■日時指名委員会 委員長：



本日11月の例会が最後になります。来週は、年次総会ですので今日は、例会後指名委員会を開きますので各委員の方々はお残り頂きます様宜しくお願い致します。当クラブも頑張ります。

### ■山本国際奉仕 委員長：



国際大会サンパウロの件です。今回は、締めの日にちが早く26日締切りですのでお早めに宜しくお願致します。残念ながら当クラブからは、お申込みは、0名です。未だ間に合いますので参加される方は、私か田無RCへ申し込みください。

### ■飯田クラブ管理 委員長：



来る12月13日(土)家族クリスマス例会のご案内で参りました。開始は、17時30分～受付。場所は、ホテル(ベルビ・ザ・グラン)です。

18時00分 点鐘・会長挨拶・クラブ管理委員長挨拶・司会(北久保会員)

18時15分 爆笑マジックショー

18時45分 黒人歌手によるアカペラ

19時30分 ハンドベル(デュオアンダンテ)

20時30分 閉会

東村山駅17時00分～バスが出ます。

今回は、ご婦人・お子様が大変喜ばれる企画でございますので是非大勢の皆様にご参加頂ける様にご参加をお願い致します。

### ■野村(高)会員研修 委員長：



回覧でご説明させていただきますが、少しお時間を頂きます。

気仙沼の仕事創出プロジェクトという事で我々も気仙沼まで行ったのですが青少年奉仕委員会の茂木さんと言う方とお付き合いをさせて頂いて頂いて現在では、板橋RCの会長をされていまして地元の高校生と一緒に色々なプロジェクトをされています。

高校生の未来と町づくりの小冊子を回覧させて頂いていただけます。東北の大震災を決して忘れてはいけないという一つの表れとなって頂ければ幸いです。

有難うございました。

## ■卓話

### ■卓話者紹介： 野崎パスト会長



本日は、ショパンコンクールについてお話頂きます。

### ■卓話者： 東京練馬中央ロータリークラブ 櫻井 健一様



## ■ショパンコンクールについて

大変長らくお待たせいたしました。

本日卓話をさせて頂きます東京練馬中央ロータリークラブの櫻井です。ヤマハ楽器で貴クラブの村越さんには大変お世話になっています。

本日は、フレデリック・ショパンについてお話させて頂きます。

1810年-0歳：ワルシャワ公国中央のジェラゾヴァ・ヴォラに生まれる。

1816年-6歳：ヴォイチェフ・ジヴヌイの指導を受ける。

1817年-7歳：ジヴヌイよりピアノを習う。現存する最初の作品『ポロネーズト短調』を作曲、出版。

1818年-8歳：ワルシャワではじめて公開演奏。

1823年-12歳：ユゼフ・エルスネルより対位法、和声学を学ぶ。

1826年-16歳：父親の勧めでワルシャワ音楽院に入学[1]。

1828年-ベルリンでの2週間の滞在。

1829年-ワルシャワ音楽院を首席で卒業、ウィーンで



演奏会を開く。

- 1830年－ワルシャワを去りウィーンに向かう。
- 1831年－ウィーンを去りパリへ向かう。デルフィヌ（デルフィナ）・ポトゥツカ夫人と再会。
- 1832年－2月26日 パリで初の演奏会を開く。
- 1835年－カルロヴィ・ヴァリで両親と最後の再会。マリア・ヴォジンスカとの再会。
- 1836年－26歳：マリアに求婚。ジョルジュ・サンドと出会う。
- 1837年－マリアとの婚約が破棄される。
- 1838年－サンドとの交際が始まる。マヨルカ島での滞在。
- 1839年－冬はパリ、夏はノアのサンドの別荘で暮らす生活が始まる。
- 1844年－冬 インフルエンザにかかる。
- 1847年－37歳：ジョルジュ・サンドとの別れ。
- 1848年－2月26日 パリでの最後の演奏会。イギリスへの演奏旅行。
- 1849年－39歳：姉、ルトヴィカと最後の再会。10月17日永眠。

生涯を通じて肺結核に悩まされた病弱の芸術家として有名であり、残された肖像画などからも、赤みがかった頬等、その徴表が見られるが、そうした繊細なイメージとよくマッチした作風のものばかりでなく、そうした自らの中の閉塞感を打破しようとする想いや大國ロシア帝国に蹂躪される故国ポーランドへの想いからか、情熱的な作風の曲も多く見られる。

幼少の頃からいろいろな面で才能を発揮し、ユーモアにあふれ、ものまねと漫画を描くのが得意で学校ではクラスの人気者だったという。

後半生は大部分をフランスで過ごした。しかし望郷の思いは終生止むことがなく、死後心臓が遺言によりポーランドに持ち帰られ、ワルシャワの聖十字架教会に埋葬された。故郷を支配する列強への反発心は若い頃から強く、「美しい花畑の中に大砲が隠されている音楽」（シューマン）と評されることもしばしばである。

また、女性との愛の遍歴も伝説を交えて語られることがあるが、特に女流作家ジョルジュ・サンドとの9年におよぶ交際の間には『24の前奏曲集』、『幻想曲』、『バラード第4番』、『英雄ポロネーズ』、『舟歌』、『幻想ポロネーズ』等数多くの傑作が生まれた。

ピアノの技術革新の時代に生きたショパンは新しい演奏技術の開拓に果敢に挑み、自身の練習の意味も込めて『練習曲集』（『3つの新練習曲』を除く12曲）を2つ編んだ。一方で古典的作曲家への敬意は強く（実際ショパンは自身がロマン派に属するという考えを否定した）、特にバッハとモーツァルトは彼の作品に影響を及ぼした。例えば『24の前奏曲集』は5度循環で24の全長短調を経る小品集だが、これは明らかにバッハの『平均律クラヴィーア曲集・24の前奏曲とフーガ』を意識したものである。また心を落ち着けるためにバッハの平均律をしばしば好んで弾いた。前奏曲作品28を作曲したマヨルカ島に持っていった印刷された楽譜は、バッハの平均律クラヴィーア曲集のみであったという。

また彼自身は同時代の有名な作曲家にして評論家でもあったシューマンとは違い、批評活動は全く行わず、音楽作品と文筆作品（ことに詩）との融合にもあまり積極的ではなかったという。

性格が激しく、それ故にしばしば欲求不満に陥ることもあったらしい（例えば1830年にウィーンに来た時の、一般大衆の音楽的嗜好が浅薄なものであったことに対して）。

写真は2枚残されており1846年の写真は損傷が激しい。もう1枚は、死の直前にルイ＝オーギュスト・ピソンによって撮られたものである。

ルイ＝オーギュスト・ピソンによる晩年のショパン

2011年3月にショパンの死後撮影された写真を発見したとポーランドの写真収集家が発表した。この写真には、ベッドに仰向けに横たわるショパンの横顔が写されており、ピソンの署名がある。しかし、ショパン博物館の学芸員、パリのポーランド図書館の写真専門家、ショパンの研究家の3人は、この写真が偽造であるとしている。

ショパンの病気は一般的には肺結核とされている。ショパンの解剖報告書、死亡診断書は失われたが、関係者の手紙で一部言及されており、それによれば、肺が侵されていたものの、死因までは特定できなかったと言う。この点や、ショパンの症状などから、ショパンの病気は他の疾患（たとえば遺伝子疾患の嚢胞性線維症など）ではないかとする説もある『音楽と病 病歴に見る大作曲家の姿』（ジョン・オシエー著、法政大学出版局、ISBN 4-588-02178-8）でも、嚢胞性線維症が主張されている。



ショパン国際ピアノコンクールの会場風景（ポーランド、ワルシャワ、2005年）



フレデリック・ショパン博物館（オストログスキ家宮殿）。ポーランド、ワルシャワ。ヤヌシュ・オストログスキが1681年より建築、のちにザモイスキ家が購入してワルシャワでの下屋敷として使用し、その後は学生寮、陸軍病院、音楽大学として使われ、第二次世界大戦後にフレデリック・ショパン協会に渡って本部事務局および博物館となった。撮影は2007年のものであるが、その後全面改装工事を施し2010年3月に再開している。

ご清聴ありがとうございました。



■閉会点鐘：赤木会長